



平成22年冬
第2号

多治見ITボランティア通信

発行：
多治見市情報センター
(問合せ)
多治見市役所情報防災課

多治見市情報センター利用者の声

ボランティアさんと取り組む自分史作り

山川 雅康

私がパソコンを始めたのは1986年のワープロ全盛時代でした。

定年退職後に再就職した会社で、女子社員の退職により事務の仕事をする事となり、土岐雇用促進事業団の訓練センターにプログラミング言語のベーシックを月2回学びに行ったのが始まりです。その後も、パソコン教室に行ったりしながら、自分なりにパソコン操作を学んでいました。ある時、知り合いの公民館長さんから、多治見市情報センターでITボランティアさんによりパソコン操作の指導をして戴けるとお聞きし、さっそく、文章の作成、写真の処理法、金銭収支書等の操作を、ボランティアの渡邊さん、熊谷さん、梅村さんに指導していただきました。

その後、第1編幼年・青年時代、第2編社会人時代、第3編退社後の老化防止、第4編海外旅行記、第5編墨絵と宗教という内容で自分史をまとめようと思い、パソコンに向かっていますが横書き文書を縦書きにしたり、写真を挿入するため、当時の写真やネガを探すのに大変手間がかかり苦労しています。

現在も校正、編集などITボランティアの方々に指導を受けながら、楽しく完成に向け頑張っています。



ITボランティアから指導を受ける山川さん(左)



作成中の自分史

うながっぱ用語辞典

【インターネット】いんたーねっと Internet



世界中にある複数のネットワークを相互に接続されることで構築された、巨大なネットワーク。一般的には、インターネット上で提供されるWeb(www)サービスを指してインターネットと呼ぶ場合もあり、Webコンテンツの閲覧や情報検索、サービスなどを利用することを「インターネットをする」などという。

インターネットを中心とするネットワークを活用した代表的なサービスとして、電子メール、映像/音楽の配信、情報の共有や公開、情報検索システム、オンラインショッピング、インターネット電話、離れた場所のコンピューターの遠隔操作がある。

(出典：ASCII.jp デジタル用語辞典)

次世代育成のための取り組み

IT ボランティアは市民の情報格差の解消に向け、高齢者の方々を対象にした講習会などを行う一方、次世代を担う子ども達が IT に触れ、親しむためのイベントにも積極的に取り組んでいます。



ライトレーサロボット教室(H22年5月・8月)
・自動車型ロボットを子ども達がプログラミングにより思い通りに動かしました



敬老の日 オリジナルハガキ作り講座(H22年9月)
・大好きなおじいさん、おばあさんに写真とメッセージ入りのハガキを送りました



子どもワークショップたじみ(H22年11月)
・子どもたちに様々な体験の場を提供するため、IT分野のみならず「産業人材の発掘・育成・振興」まで視野の拡大を目的に開催したイベントに IT ボランティアも参加しました。

13 団体が様々なブースを設ける中、IT ボランティアとしてブースを担当するだけでなく、他ブースの補助をするなど積極的にイベントに協力しました。

来場者 550 名(保護者含む)

多治見市情報センターご利用案内



◆所在地

〒507-0831 多治見市新町 1 丁目 23 番地
(多治見市産業文化センター2 階)
情報センター Tel:0572-21-6156

◆開館時間

10:15~16:45

◆IT ボランティア常駐時間

前半 10:30~13:30 後半 13:30~16:45

※ IT ボランティアが常駐していない日もあります。
予め TEL にてご確認ください。

◆休館日

月曜日・年末年始(12月29日~1月3日)

◆車をご利用の場合、駐車場は有料です。

駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

IT ボランティア募集

申し込み・問い合わせ先

〒507-8703 多治見市日ノ出町 2-15 多治見市役所 情報防災課

電話:22-1111(内線:1417) FAX:24-0612 E-mail:johobosai@city.tajimi.gifu.jp